

事務局	事務局補佐	係長	係

## 会 議 ・ 打 合 会 報 告 書

会議名	平成 28 年度第 1 回文化のまちづくり委員会
日 時	平成 28 年 8 月 22 日（月曜）午後 2 時から午後 4 時まで
場 所	豊川市文化会館 小会議室 1
出席者	委員 7 名 事務局 3 名
欠席者	なし
内 容	以下のとおり

事務局：定刻を過ぎましたので、ただ今から、「平成 28 年度第 1 回豊川市文化のまちづくり委員会」を始めさせていただきます。

課長：日ごろは文化行政にご協力いただきありがとうございます。今回新しい委員さんを 2 人お迎えして、新しい気持ちでやっていきたいと思えます。今、豊川市は各ホールの老朽化など色々な問題を抱えています。それぞれのホールを大切に思っていますが、維持費などの問題もあり、委員の皆様には市民の目線にたっているいろいろなご意見をお願いしたいと考えております。委員会は年に 2～3 回ですが、年間にわたってご教授くださいますようお願いいたします。

（他事務局あいさつ）

事務局：新年度となり、新たな任期がスタートしました。任期は 2 年間で平成 30 年 3 月 31 日までとなります。この、新たな任期のスタートに伴い、小野委員と山本委員に代わって、新たに大村さん、市川さんに委員を委嘱させていただきました。

それでは、新しい委員さんもいらっしゃることですので、1 人ずつ自己紹介をお願いします。

（各委員あいさつ）

事務局：それでは、議題に入りたいと思えます。委員長・副委員長が決まるまでは、事務局で進めさせていただきますので、よろしく願いいたします。

まずは役員の選出です。

会則にある委員長、副委員長、監事を選出していただきます。会計は事務局が事務を行っていますので、選出対象から外しますので、ご承知置きください。

委員長について、何かご意見があればお願いします。

委員：私から推薦させていただいてよろしいでしょうか。

（委員を推薦）

かねてからこの方にとお願いしていました。ぜひつとめてお願いします。

（一同拍手）

事務局：では、この拍手を持って承認とさせていただきます。

事務局：副委員長は例年、委員長の指名で決めていますので、委員長、よろしく願いします。

委員長：では、副委員長を指名します。お願いします。

（委員を指名・一同拍手）

それでは、よろしく願いします。

事務局：監事は、いかがいたしましょうか？

委員長：では、前委員長にお願いしたいと思えます。

（一同了承）

それでは、よろしく願いします。

事務局：ありがとうございます。

それでは、この 3 名に決定いたしました。決まった方から、一言ずつ、ご挨拶をお願い

いできますか。

委員長：改めてよろしく申し上げます。市の文化政策は文化会館を作り変えるか、旧4町のホールをどうするかなどあります。市長さんはスポーツを盛んにということでスポーツ関係を重視し、今の任期では、子育てを重視しています。子どもたちにどういう教育を与えられるかということもあるかと思えます。年内の会議は数が少ないので、協力してやっていきたいと思えます。よろしく申し上げます。

副委員長：よろしく申し上げます。微力ながらがんばります。ホールの話も、他の施設と相談しながらやっていければと思えます。

事務局：では、以降の進行は委員長に申し上げます。

委員長：それでは、次の議題に写ります。議題2の(2)平成27年度の事業報告及び決算報告について、事務局から説明をお願いします。

事務局：平成27年度の事業報告及び決算報告についてですが、前回、説明させていただいた時点からの追加分の説明をさせていただきます。

まず、事業報告書ですが、1 自主企画事業の①とよかわ文化芸術創造プラン推進計画関連事業の中で、次年度に予定している「木ノ下歌舞伎」の27年度分委託料を支払ったことが追加されています。

次に、3 優秀文化事業助成の②こどもミュージカル「トゥインクル」について、3月27日に開催した旨記載いたしました。

次に、4 自主出版物助成 ですが、本来、出版の翌年度に助成するものですが、平成28年度に助成する予定の金額が大きかったことから、そのうちの一つを平成27年度予算から助成させていただきましたので、稲塚嶋（いなづかしま）の助成について記載しました。

続いて、決算書ですが、歳出の「自主企画事業」について、②チラシ印刷代90,000円を予定していましたが、これが90,864円。それに加えて③27年度作業分の委託料を259,864円支払いましたので、追記しました。

また、「自費出版物助成」について、先ほどご説明いたしました稲塚嶋の助成について121,811円の支出を追記しました。

これらを支出した結果、歳入が4,414,136円、歳出が4,412,123円に確定。残金が2,013円となり、これを市へ返納させていただきました。

この決算について、前年監事に確認をしてもらいましたので報告をお願いいたします。

監事：平成28年8月19日、文化会館内文化振興課において、事務局から、平成27年度豊川市文化のまちづくり委員会決算関係書類の提示を受け、これを監査しましたが、その内容は決算書に報告されている内容を一致しており、適正に処理されていることを確認しましたので、報告いたします。

委員長：ただいまの説明について何かご質問等ありますか。

委員：避難訓練コンサートについてですが、これは今までありましたか？

事務局：今までは職員のみで避難訓練を行っていましたが、ホールで公演中災害が起こった場合どうするのかということで、防災対策課が行っている防災講演会の際に協力して行ったものです。

委員：歳出の中にレンタサイクル科目が毎年ありますが、もし修繕すると金額が出てくるのでしょうか。科目はどのような基準で決まっているのですか。

事務局：レンタサイクルは設置した際に、他に予算をつけられるところがなく、まちづくりで予算化した経緯があります。

委員：以前にはレンタサイクルで市内をめぐるパンフレットをまちづくりで作成したことがあります。

委員：利用はあるんでしょうか？

事務局：あります。いろいろな用途で借りられているので、観光目的で使われているだけではないということはありません。

委員：もう少し周知されるようにしたいです。

委員：使われていない自転車もあるようですし、予算だけ持っているのもどうかと。レンタ

サイクルの運用をもう少し考えてもよいかと思えます。

委員：観光協会とも連携して宣伝をもっとしてもよいですね。

委員：置く場所も考えるとよいかもしれません。駅にあると便利ですよね。

委員長：レンタサイクルについては、一度検討をお願いします。

他になければ、軽微な修正とレンタサイクルについて検討するというので、こちらの事業報告と決算について承認いただけますか？

(一同拍手で承認)

それでは次に(3)平成28年度事業と進捗状況に移りたいと思います。事務局、説明をお願いします。

事務局：お手元には、平成28年度豊川市文化のまちづくり委員会予算を配布させていただいております。この中で、既に支出済みのものについてご報告いたします。資料はございませんので、ご了承ください。

まず、舞台公演実行委員会の企画・運営による、木ノ下歌舞伎が6月18日に実施されました。14時の部が一般183人、アンダー24が23人、合計206人。18時の部が一般132人、アンダー24が34人、合計166人のご来場をいただきました。歳入としては、予算70万円のところ、677,000円、歳出は、予算182万円のところ、1,346,272円でした。また、とよかわ文化芸術創造プランを推進するためのアドバイザーとして、引き続き、愛知県芸術劇場の林健次郎氏に1年間講師を依頼しました。

ロビーコンサート事業として、桜ヶ丘ミュージアムにおいて、6月26日、テルミン・マトリョミンのコンサートを実施しました。また、音羽文化ホール、御津文化会館、小坂井文化会館でのロビーコンサートへ、運営に関わる費用を各10万円ずつ助成しました。現在のところ、以上のものが予定どおり実施されています。

委員長：ただいまの説明について何かご質問等ありますか。

私からですが、木ノ下歌舞伎は予算に比べてだいぶ少ないのでは？

事務局：市の事業に比べてやや持ち出しが多かったのですが、前年度分の委託料を前年度に支払ったことと、県と協働で行ったため、印刷物の経費を按分できたことなどが大きいです。とよかわ舞台公演実行委員会の方たちもよくやってくれて観客数が増えたので、収入もほぼ予算くらいになりました。

委員長：ありがとうございます。大きな事業は1つ終わっていますが、まだ残っている事業もあります。これについては現状の報告でした。特に質問がなければ、次に移ります。

委員長：それでは、次に(4)平成28年度文化ホール公演事業等について、事務局、説明をお願いします。

事務局：昨年度、皆様にご承認いただいた、平成28年度の市としての文化ホール公演事業についても、実施した公演の状況をお伝えしておきます。

6月12日三遊亭萬橘さんの独演会をウィンディアホールで実施し、チケットは225枚の売り上げでした。

6月18日木ノ下歌舞伎の義経千本桜をハートフルホールで実施。これについては、先ほど説明させていただいたとおりです。

7月9日立川談春さんの独演会を文化会館大ホールで実施。1,311枚の売り上げでした。

7月17日こぶとりじいさん、手袋を買いにを一宮生涯学習会館で実施。売り上げは、61枚でした。

7月31日後藤正孝さんのピアノリサイタルをフロイデンホールで実施。233枚の売り上げでした。

8月6日お子様向けの海外公演であるブロックをウィンディアホールで実施。126枚の売り上げでした。この公演については、劇団サイドから観客は100名と制限されていた公演でしたので、満席以上ということになりました。

また、先日8月21日に行われたBIRTH☆ファミリーコンサートですが、ハートフルホールで実施し、242枚の売上でした。以上です。

委員長：ありがとうございます。本年度は今週末にも事業があり、目白押しですね。

事務局：補足ですが、海外公演はジョイントフェスティバル愛知という7つの市町村が共同で海外の団体を呼んでいるものです。

委員長：毎回話題になるのですが、イベントインフォメーションを年度初めにきっちり作ってくれていて、各館にも配布をしているのに、あまり事業の認知がされていないです。今広報も月1回になり、回覧もできないそうですから、せつかくITも進んでいるので、メール配信などの広報も行ってもいいのではと思います。横の連携を進めるなど、観光が今うまくいっているの、協力などできないでしょうか。

とりあえず(4)については報告は以上で、あとは意見交換ということでお願いします。とよかわ文化芸術創造プランについて、10ヵ年計画で策定し、5年がたちました。このプランの核はセンター機能のことで、流行りでもある。行政だけでなく市民が中心となってやっていくために人材の育成が必要。とよかわ舞台公演実行委員会なども活動していますが、まだまだそういう状況でもないのかと思います。ハードのことも話題にのぼってきているし、その時にタイミングよくソフト面も組み込めるとよいのですが。このまま何もしなければ、どこかのコンサルが設計して使い勝手のよくない箱ができてしまう恐れもあります。

事務局：現場としては、新しいホールができるようになったら、市民・行政だけでなく、舞台をよく知っている専門家と計画を作っていくのと個人的には考えています。

アーティストはジャンルが複雑で難しいので、地域の市民・ホールの専門家・ホールを使う舞台の専門家にぜひ入ってもらいたいです。

委員：手法はいろいろあると思いますが、やっていけるのでしょうか？

事務局：センター機能はなかなか難しいです。プランについては、プランの冊子を新しくする予算は今年つかなかったの、実施計画で修正しようとしています。子育てや社会包摂、ミュージアムの関係が弱いので、そこを修正したいと考えています。

委員：センター機能のイメージはどんなものでしょうか？

事務局：今、とよかわ舞台公演実行委員会が自分たちでやっていこうと意欲を持ってくれていますが、常勤で委員会と行政をつなぐコーディネーターとしては難しいです。ボランティア組織のコーディネーターとしての人材も必要で、それを誰をやるのかを考える時期が来たと思います。行政は何年かで異動してしまうので、知識や経験を持った人が常勤でいてほしいですし、舞台公演実行委員会をきちんとした組織にするにはどうしたらいいか考える必要があります。

委員：新しい会館はなんとなく何年後という話はあるのですか？

事務局：作るという具体的な話はありません。

委員：行政側から市民に策定ワーキングなどの話が来た時には、ある程度もう形ができていることが多いです。個人の資質で行政が選んでいるわけでもないし、長い期間で考えないともったいないです。

事務局：先日視察で武豊町と可児市に行ってきましたが、そこは新しい施設を作る計画段階で市民が関わってくれています。そこから引き続き関わっているので、施設と作るということがホームを作るきっかけになるでしょうし、新しい会館という話があれば、市民の声を聞いて一緒に作っていきたいです。

委員長：ちょうど建物もそういう時期に来ていて、要求するだけならこれもこれもとできるけれど、本当にそういうものが必要なのかということを考える必要があると思います。建物はもういいから周りの市町村に任せて、情報面でサポートすることもできる。行政の垣根を越えてやるべきという意見もあるので、ただ箱物をつくっただけでは、また新しいものができただけということになってしまう。そういうことも話し合っていければと思います。

事務局：地域でいうと、豊橋にはプラット(800席)、ライフポート(1,000席)、文化会館、アイプラザ、公会堂があります。豊橋市としてはプラットが中心で、とよかわが作るとしたら、同じようなものをつくっても仕方がないです。田原は合併して3館あり、有料の自主事業はやらずに、子どもの鑑賞事業に特化しています。蒲郡も自主事業はほとんどやっていないですね。

委員 : 各館で行っているロビーコンサートは、謝礼は薄謝だけれど、発表の場としてやりたいといってくれている若い人がたくさんいます。そういう意味でも意味がある事業だと思います。

委員長 : 建築関係ではどうですか？

委員 : この文化会館ができたころには、全国各地で同じような箱物ができていました。これからはそういう時代ではないので、方向性を決めて個性を出していくのが大事だと思います。意見をまとめていくのは大変だと思います。

事務局 : 新しい計画がたちそうだという話が出ると、修繕計画がたたないことが問題ではあります。1年先まで予約は入っているので、何かあったとしてもしめることがすぐにはできません。今文化会館内に2つホールがありますが、駐車場の関係で一度に使えないという問題もあります。

委員長 : 建物の問題もたくさんあるようですが、人のことも問題ですね。センターの立ち上げは難しいということですが、その長を務めてくれる方がいれば、なんとかなるのでは？観光協会の局長のようなイメージでは？

委員 : その前に1つ確認したいことがあるのですが。将来ここに向かっていこうという目的が今見えないです。新しいものを作って向かっていこうなのか、地域にあるものを有効に使っていこうなのか。それによって変わってくるが、それが見えてこないです。ホールを作るのは手段であって、もっと上の核になる部分が必要。それによって、作るのか活用するのかを判断することが必要です。

観光協会の目的は、豊川に注目してもらうにはどうするかということです。ブランドプロジェクト・まつりプロジェクト・おもてなしプロジェクトを核としてやっています。まつりは、いろいろなまつりがあって、自分の住む地域以外のまつりを市民が知らない。それをとりあげて、そういうものがあると拾い出しています。ブランドは、地域にはそれぞれいいものがあるので、それをブランド化してPRしていく。それを行うには人が伝えることが一番で、それがおもてなしに繋がる、地域のみんなが知って好きになると、外から来た人を迎える意識が出てきます。

地域ごとにボランティアガイドの要請をしっかりといき、それを協会がバックアップしています。小学生に地域のことについて作文を書いてもらってということもしています。

チラシを見せていただきましたが、このホールは子どもに特化するなど、各ホールを各ジャンルに特化できるよう特徴を拾い出して活用する。経費がない状態なら、小さいところのより稼働率をあげるのも手だと思います。

委員 : プランを策定した際は、ホールの地域の特性を持って、ホールを活用することを目標としていました。

委員 : 目的を集約すると、ボランティアを集めやすいです。地域ブロックで分けてしまうとぼんやりしてしまう。

委員 : プランは大きすぎてぼやけてるので、戦略的な構想が必要だと思います。観光協会はやそから呼んできたけれど、そういうことをするとお金がかかる。核になる人は、豊川をよく知っている、好きな人を探したい。そういう人を軸にしてやっていきたいです。

委員 : いろんな所をリンクさせる必要があるなので、個体を強くして連動させたい。観光協会もボランティアで繋がっている。マスコミに取り上げてもらいながら同時にPRするということをしています。プランは市民目線では難しいので、視覚的・聴覚的に知らせていかないと、それには核になる人が必要です。また、まちづくりに必要な核とは何かを考えないといけない。

委員長 : いろいろ考えていくことが見えてきたので、今回はこれで終了したいと思います。委員会は2~3回しかありませんが、事務局とも意見交換してければよいですね。

委員 : 特に委員会の回数は決まっていないので、もっと意見を交換する場があってもよいのではないですか？

委員 : とよかわ舞台公演実行委員の方にも参加してもらってお互い知ってもらいたいです。

委員 : 合併したことで企画やチケットの件で不満を聞くこともあります。市民の意識も変わって貰わないといけないですね。

委員 : ボランティアは表に出てこないなので、メインに出していく仕組みを考えています。発表できる場を設けて外部に発信する場をつくり、説得する力や知識を持ってもらう、訓練をする場を確保することも必要です。ボランティアは必ず何か問題を抱えている。問題は何か、何が楽しいか、何を目標としているのかを発表する場をもうけたい。委員会で伝えてもらわないと、まちづくりで何を話し合うのか見えてこない。

委員長 : いろんな意見が出てきました。言いつ放しではなく、これからも議論していきたいです。では、お忙しい中お集まりいただきありがとうございました。

15 : 50 終了